

横須賀市下水道 ストックマネジメント計画

令和5（2023）～9（2027）年度

計画書

令和5年2月
令和7年3月 変更
令和8年2月 変更

横須賀市上下水道局

変更理由書

令和7年（2025年）3月5日付横上下第47号「横須賀市下水道ストックマネジメント計画」については、以下の理由により変更いたします。

- ・ 処理場・ポンプ場施設における改築対象施設の追加

令和8～9年度の改築対象施設について、設計や優先順位の見直しにより改築範囲に変更が生じたため、本計画に追加する。

横須賀市下水道（第2期）ストックマネジメント計画（第2回変更）

横須賀市上下水道局

策定 令和5年2月

（第1回）改定 令和7年3月

（第2回）改定 令和8年2月

① スtockマネジメント実施の基本方針

【状態監視保全】・・・

機能発揮上、重要な施設であり、調査により劣化状況の把握が可能である施設及び腐食する恐れが大きい管路施設を対象とする。

※ 状態監視保全とは、施設・設備の劣化状況や動作状況の確認を行い、その状態に応じて対策を行う管理方法をいう。

【時間計画保全】・・・

機能発揮上、重要な施設であるが、点検・調査にて劣化状況の把握が困難な施設を対象とする。一定の機能を有しないマンホール蓋及び取付管も対象とする。

※ 時間計画保全とは、施設・設備の特性に応じて予め定めた周期（目標耐用年数等）により対策を行う管理方法をいう。

【事後保全】・・・

機能上、影響が小さい等重要度が低い施設を対象とする。

※ 事後保全とは、施設・設備の異状の兆候（機能低下等）や故障の発生後に対策を行う管理方法をいう。

② 施設の管理区分の設定

1) 状態監視保全施設

【管路施設】

施設名称	点検・調査頻度	改築の判定基準	備考
管渠、マンホール	1回/5年の頻度で点検を実施。 点検で異状を確認した場合には調査を実施。	緊急度Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（腐食）で改築を実施。	腐食のおそれの大きい箇所
管渠	1回/30年の頻度で点検を実施。 点検で異状を確認した場合には調査を実施。 異状はあるが改築対象とならなかった箇所（緊急度Ⅲの腐食以外）は1回/15年で調査を実施。	緊急度Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（腐食）で改築を実施。	上記以外
管渠、マンホール、取付管、柵	1回/13年の頻度で空洞化調査を実施。空洞化が発見された近接箇所の管路施設に対して施設の異状有無と程度を確認する点検もしくは調査を実施。	空洞化に起因する異状で改築を実施。	
水管橋	1回/5年の頻度で近接目視による点検を実施。 点検で異状を確認した場合には調査を実施。	健全度Ⅲ、Ⅳで改築を実施。	「道路橋定期点検要領」による健全度は、Ⅰ（健全）～Ⅳ（緊急措置）

【処理場・ポンプ場施設】

施設名称	点検・調査頻度	改築の判定基準	備考
スクリーンかす設備	概ね1回/7年の頻度で調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
汚水沈砂設備	概ね1回/7年の頻度で調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
雨水沈砂設備	概ね1回/10年の頻度で調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
汚水ポンプ設備	概ね1回/7年の頻度で調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
雨水ポンプ設備	概ね1回/7～10年の頻度で調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
雨水滞水池・調整池設備	概ね1回/10年の頻度で調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
汚水調整池設備	概ね1回/7年の頻度で調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
最初沈殿池設備	概ね1回/7年の頻度で調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
反応タンク設備	概ね1回/5～10年の頻度で調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	

名称	点検・調査頻度	改築の判定基準	備考
最終沈殿池設備	概ね1回/7年の頻度で調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
消毒設備	概ね1回/5年の頻度で調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
用水設備	概ね1回/7～10年の頻度で調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
急速ろ過設備	概ね1回/7年の頻度で調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
汚泥輸送・前処理設備	概ね1回/7年の頻度で調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
汚泥濃縮設備	概ね1回/7年の頻度で調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	遠心濃縮機は長寿命化しない。
汚泥貯留設備	概ね1回/7年の頻度で調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	
汚泥脱水設備	概ね1回/7年の頻度で調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	遠心脱水機は長寿命化しない。
汚泥焼却・溶融設備	概ね1回/5年の頻度で調査を実施。	健全度2以下で改築を実施。	

※上記各施設のうち、機能発揮上重要なものを対象とする。

2) 時間計画保全施設

【管路施設】

施設名称	目標耐用年数	備考
マンホール蓋 (平受構造)	標準耐用年数 (車道15年、その他30年)	
取付管 (Zパイプ、陶管)	—	Zパイプ、陶管とも現基準に適合しない規格のため全て対象

【処理場・ポンプ場施設】

施設名称	目標耐用年数	備考
特高受変電設備	概ね30～35年	点検により異状等を確認した場合や関連設備と併せて改築するのが効率的である場合は、標準耐用年数をもとに改築の判断を行う。
受変電設備	概ね15～35年	
自家発電設備	概ね30～35年	
制御電源及び計装用電源設備	概ね10～22年	
負荷設備	概ね15～22年	
監視制御設備 (ITV装置は除く)	概ね10～22年	

3) 主要な施設の管理区分を事後保全とする場合の理由

【管路施設】 . . .
 管渠

【汚水・雨水ポンプ施設】 . . .
 ポンプ本体

【水処理施設】 . . .
 送風機本体もしくは
 機械式エアレーション装置

【汚泥処理施設】 . . .
 汚泥脱水機

③ 改築実施計画

1) 計画期間

2) 個別施設の改築計画

【管路施設】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理区・排水区 の名称	合流・ 汚水・ 雨水の別	対象施設	布設 年度	供用 年数	対象延長 (m)	概算 費用 (百万 円)	備考
下町処理区	合流 汚水 雨水	管渠	S24 ～ S59	38 ～ 73	2,358	763	⑦耐震化
全処理区	合流 汚水 雨水	マンホール蓋	S22 ～ S50	47 ～ 75	450	162	箇所
全処理区	合流 汚水 雨水	取付管	S20 ～ S50	47 ～ 77	600	246	箇所
合計						1,171	

※供用年数の基準年は、2022年度（令和4年度）

標準耐用年数を経過していない施設については、備考欄に概要を示している

【処理場・ポンプ場施設】

(1)	(2)	(3)			(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理場・ポンプ場等の名称	合流・汚水・雨水の別	対象施設			設置年度	供用年数	施設能力	概算費用 (百万円)	備考
		工種	中分類	小分類					
下町浄化センター	合流	機械	スクリーンかす設備		S62～H10	24～35		740	
			汚水沈砂設備		S62～H12	22～35			
			汚水ポンプ設備	ポンプ本体	H2～H10	24～32	80m ³ /min	1,050	
			雨水ポンプ設備	ポンプ本体等 ディゼール機関	H5～H7 H5～H7	27～29 27～29	142m ³ /min		
			最初沈殿池設備		S63～H15	19～34		654	
			反応タンク設備	送風機本体等	S53～H3	31～44	110m ³ /min	550	
			最終沈殿池設備		S59～H15	19～38		650	
			汚泥輸送・前処理設備	自動除塵機等	H13～H19	15～21		900	
			汚泥濃縮設備		H13～H15	19～21	50m ³ /h		
			汚泥貯留設備	機械式攪拌機等	H13～H14	20～21			
		汚泥脱水設備		H7～H26	8～27	10m ³ /h	833	①塩害	
		電気	特高受変電設備		S58	39		5,788	
			受変電設備	遮断器盤等	S58～H12	22～39			
			制御電源及び計装用電源設備	蓄電池盤等	H12～H20	14～21			
			負荷設備	コントロールセンタ等	S53～H17	17～44			
				回転数制御装置	H2～H20	14～32			
			監視制御設備	プロセスコントローラ等	S60～H15	19～37			
				現場盤等	S51～H26	8～46			③LCC
			テータロギングコントローラ等	H20	14				
追浜浄化センター	合流	機械	汚水ポンプ設備	ポンプ本体等	S57～H14	20～40	13m ³ /min 35m ³ /min	175	
			反応タンク設備	散気装置	H19	15		640	
				機械式エアレーション装置	H19	15			
			用水設備	ろ過機	H7～H10	24～27		190	
				自動洗浄ストレーナー	H7～H10	24～27			
		消毒設備		H7	27				
		電気	自家発電設備		S58	39	875kVA	782	
			負荷設備	高圧コンヒネーションスタータ等	S57～H17	17～40			
				回転数制御装置	H12～H17	17～22			
			監視制御設備	プロセスコントローラ等	H17～H21	13～17			
				現場盤等	H7～H21	13～27			③LCC
	テレメータ・テレコントロール装置等	H13	21						
小計							12,952		

(1)	(2)	(3)			(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	
処理場・ポンプ場等の名称	合流・汚水・雨水の別	対象施設			設置年度	供用年数	施設能力	概算費用 (百万円)	備考	
		工種	中分類	小分類						
西浄化センター	汚水	機械	汚水ポンプ設備	ポンプ本体	H8	26	18 m ³ /min	32		
			最初沈殿池設備		H7	27		135		
			最終沈殿池設備		H7	27				
			反応槽設備	散気装置	H14	20		144		
				送風機本体	H9	25			90	
			用水設備	ポンプ	H14	20				
			汚泥輸送・前処理設備	破砕機	H19	15			180	
			汚泥濃縮設備		H12	22				
		汚泥貯留設備	機械式攪拌機	H12	22					
		電気	受変電設備	断路器盤等	H8～H15	19～26			1,332	③LCC
				柱上開閉器	H9	25				
				高調波抑制装置	H8～H15	19～26				
			制御電源及び計装用電源設備	蓄電池盤等	H12	22				
				負荷設備	高圧コンビネーションスタータ等	H8～H15	19～26			
			監視制御設備		回転数制御装置	H8～H15	19～26			
				プロセスコントローラ等	H8～H14	20～26				
		現場盤等	H8～H15	19～26						
監視コントローラ等	H25	9					③LCC			
追浜ポンプ場	合流	機械	汚水ポンプ設備	ポンプ本体	H25	9	22.2m ³ /min	180	①塩害	
			雨水ポンプ設備	ポンプ本体等	H1～H2	32～33	260m ³ /min 145m ³ /min	625		
				ディゼール機関	H1～H2	32～33				
		電気	自家発電設備		H2	32	625kVA	430		
			制御電源及び計装用電源設備	蓄電池盤等	H20	14				
				監視制御設備	シーケンスコントローラ等	H19～H20	14～15			
現場盤等	H1～H20	14～33					③LCC			
深浦ポンプ場	汚水	電気	監視制御設備	テレメータ・テレコントロール装置	H13	21		200		
長浦ポンプ場	汚水	機械	汚水ポンプ設備	ポンプ本体	H14～H17	17～20	6m ³ /min	45		
			スクリーンかす設備		H10	24		30		
		電気	受変電設備	断路器盤等	S62	35		150kVA	309	
				柱上開閉器	S62	35				
			自家発電設備		S62～S63	34～35				
			制御電源及び計装用電源設備	蓄電池盤等	S63～H17	17～34				
			負荷設備	動力制御盤	S62～H3	31～35				
監視制御設備	現場盤等	S62	35							
小計							3,732			

(1)	(2)	(3)			(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
		対象施設							
処理場・ポンプ場等の名称	合流・汚水・雨水の別	工種	中分類	小分類	設置年度	供用年数	施設能力	概算費用 (百万円)	備考
制御電源及び計装用電源設備	蓄電池盤等	H19	15						
監視制御設備	シーケンスコントローラ等	H19	15						
	補助リレー盤等	H16	18						
日の出ポンプ場	合流	機械	汚水ポンプ設備	ポンプ本体	H7	27	21m ³ /min	72	
			雨水ポンプ設備	ポンプ本体	H1	33	65m ³ /min	220	
				ディゼール機関	H1	33			
馬堀ポンプ場	合流	電気	制御電源及び計装用電源設備	蓄電池盤等	H18～H22	12～16		180	
			監視制御設備	CRT 操作卓等	H22	12			
根岸ポンプ場	合流	機械	汚水ポンプ設備	ポンプ本体	S57～H4	30～40	32m ³ /min 47m ³ /min	49	
			電気	負荷設備	高圧コンベクションスタクタ等	H2～H12	22～32		534
		監視制御設備		計装計器盤	H18	16			
			監視コントローラ等	H18	16				
舟倉ポンプ場	汚水・雨水	機械	スクリーンかす設備		S63～H12	22～34	池幅 1.5m 池幅 4.0m	660	
			汚水沈砂設備		S52～H7	27～45			
			雨水沈砂設備		S52	45			
			汚水ポンプ設備	ポンプ本体	H12	22	4.3m ³ /min		34
		電気	負荷設備	コントロールセンタ等	H12～H24	10～22		400	③LCC
			監視制御設備	現場盤等	S57～H13	21～40			
監視コントローラ等	H24	10							
舟倉第2ポンプ場	汚水・雨水	機械	雨水ポンプ設備	ポンプ本体等	S58	39	330m ³ /min	360	
				ディゼール機関	S58	39			
		電気	負荷設備	コントロールセンタ等	S60～S61	36～37		396	
			監視制御設備	プロセスコントローラ等	H11～H23	11～23			
補助リレー盤等	S57～H18	16～40							
久里浜第1ポンプ場	汚水・雨水	機械	スクリーンかす設備		S58～H10	24～39	池幅 3.5m	313	
			雨水沈砂設備		S58	39			
			汚水ポンプ設備	ポンプ本体等	S56～H15	19～41	17.2m ³ /min	72	
			雨水ポンプ設備	ポンプ本体等	S57	40	200m ³ /min	270	
		ディゼール機関		S57	40				
		電気	負荷設備	高圧コンベクションスタクタ等	S56～H16	18～41		150	
監視制御設備	現場盤等		S56～H16	18～41					
小計								4,052	

(1)	(2)	(3)			(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
		対象施設							
処理場・ポンプ場等の名称	合流・汚水・雨水の別	工種	中分類	小分類	設置年度	供用年数	施設能力	概算費用 (百万円)	備考
		久里浜第2ポンプ場	汚水・雨水	機械					
雨水沈砂設備					S56	41			
電気	雨水ポンプ設備				ポンプ本体等	S56	41	210m ³ /min	400
				ディゼール機関	S56	41			
	負荷設備			高圧コンプレッションスタータ等	S56～H16	18～41	216		
監視制御設備	プロセスコントローラ			H7	27				
	現場盤等	S55～H16	18～42						
上町ポンプ場	合流	機械	汚水沈砂設備		H16	18	池幅 2.5m	71	
			雨水沈砂設備		H2～H21	13～32	池幅 3.0m 池幅 4.0m	90	①塩害
			雨水ポンプ設備	ポンプ本体	H4～H6	28～30	85m ³ /min 140m ³ /min	62	
			スクリーンかす設備		H13	21	池幅 1.2m	100	
		電気	受変電設備	断路器盤等	S56～H14	24～41	300kVA 1,250kVA	999	
				柱上開閉器	S56	41			
			自家発電設備		S56～H1	33～41			
			制御電源及び計装用電源設備	蓄電池盤等	H12	22			
			負荷設備	コントロールセンタ等	H1～H14	20～33			
				監視操作設備	シークスコントローラ等	H13			
	現場盤等	S60～H14	20～37						
浦賀ポンプ場	汚水	電気	自家発電設備		S63	34	250kVA	162	
鴨居ポンプ場	汚水	機械	汚水ポンプ設備	ポンプ本体	H16～H17	17～18	3.2m ³ /min	54	
			電気	制御電源及び計装用電源設備	汎用UPS	H25	9	108	
		負荷設備		動力制御盤等	H1～H11	23～33			
				回転数制御装置	H1	33			
		監視操作設備	現場盤等	H1～H15	19～33				
	テレメータ・テレコントロール装置	H15	19						
走水ポンプ場	汚水	機械	汚水ポンプ設備	ポンプ本体	H14～H19	15～20	0.8m ³ /min	27	
			電気	受変電設備	低圧主幹盤等	H4	30	170	
		制御電源及び計装用電源設備		汎用UPS	H11	23			
		負荷設備		動力制御盤等	H4	30			
		監視操作設備	現場盤等	H4	30				
伊勢町ポンプ場	汚水	電気	制御電源及び計装用電源設備	汎用UPS	H11	23	10		
小計							2,769		

(1) 処理場・ ポンプ場等 の名称	(2) 合流・ 汚水・ 雨水の別	(3) 対象施設			(4) 設置 年度	(5) 供用 年数	(6) 施設能力	(7) 概算 費用 (百万円)	(8) 備考
		工種	中分類	小分類					
津久井 ポンプ場	汚水	機械	汚水沈砂設備		H8	26	池幅 1.3m	135	
長井 ポンプ場	汚水	電気	制御電源及び計 装用電源設備	汎用UPS	H18	16		144	
			監視制御設備	補助リレー盤等	H9	25			
				監視コントローラ等	H9	25			
				通信装置	H9	25			
武 ポンプ場	雨水	機械	スクリーンかす設備		S61～H1	33～36	池幅 2.5m	380	
			雨水沈砂設備		S62～S63	34～35		270	
			雨水ポンプ設備	ポンプ本体等	S59	38	140m ³ /min	350	
		ディーゼル機関		S59	38				
		電気	自家発電設備	S63	34	140kVA	180		
小計								1,459	
合計								24,964	

※供用年数の基準年は、令和4年度（2022年度）

標準耐用年数を経過していない施設については、備考欄に概要を示している

④ スtockマネジメントの導入によるコスト縮減効果

概ねのコスト縮減額	試算の対象時期
約 6,750 百万円/年	概ね 50 年